

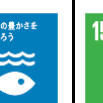
※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（株式会社ビーブレックス）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			ハラスメントに関する相談があった場合は、代表者が相談窓口となり、内容を確認したうえで適切に対応する体制としている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			社員の労働時間の管理を徹底し、各員の業務内容等の調整を行っている。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			必要性に応じ、代表が責任を持って確認する				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			社員の健康維持のため、健康診断を年1回実施している。 快適な職場環境を整えるため、暖房・冷房・空調を管理している。 職業病(腰痛)を防ぐため、快適な姿勢を保てる椅子を提供している。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			セルフケアを個々で心掛けている。 2カ月に1回程度、ランチミーティングを実施し、社員同士の交流を図っている。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			子育て時期に配慮した勤務体系とする等女性従業員も主体となり活躍している職場づくりができています。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			社員に生成AI等を利用できる環境を提供し、業務への活用方法を共有することで、デジタルスキルの向上や業務効率化、企画・制作能力の向上に取り組んでいる。				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			パートタイム・有期雇用労働法等の内容を理解し、同一労働同一賃金の原則に沿った待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			従業員の健康維持と疾病の早期発見のため、健康診断を毎年実施している。			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			ゴミの分別を適切に処理している。また、裏紙の使用や両面印刷により、紙の使用量削減に取り組んでいる。											11.6	12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			毎月の電力使用量を把握している							7.3						13				
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			社内の照明をLEDに変更。また、不要な蛍光灯は外し、省エネへ取り組んでいる。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)	【非該当】		当社の事業では、法令等で規制されている有害化学物質を使用・排出していないため。			3.9			6.3					11.6	12.4					

項目 番号	カテ ゴリ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																								
15	環 境	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			本社周辺の草刈りや清掃を行い、周辺環境の維持に取り組んでいる。						6.6								15				
16		【３Rの推進】 ・ リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			プラスチック製容器は分別し、リサイクルしている。PC機器の長期利用の促進に努めている。不要となったインクトナーの回収・リサイクルに努めている									13		14.1							
17		【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			月々の使用量を把握し、各々が必要以上に使用しないよう気をつけている。						6.4 6.6												
18		【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)	【非該当】		環境マネジメント規格を取得していないため。				3.9			6	7				12	13.3	14	15			
19		【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)	【非該当】		紙資源の使用削減や省エネルギー等には取り組んでいるが、現時点では環境方針や環境に関する取組を対外的に公表していないため。												12.6						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)	【非該当】		現時点では再生可能エネルギーを利用しておらず、具体的な導入予定もないため。								7.2						13				
21	公 正 な 事 業 慣 行	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			コピー用紙は、再生紙・リサイクル紙の使用に努めている。													12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			取引先との公正な関係を維持し、汚職・贈収賄に該当する行為を行わないよう従業員に周知している。																16 16.5		
23		【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			法令及び公正な取引慣行を遵守し、不正競争行為に関与しないよう従業員に周知している。																16		
24		【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			業務上、顧客の知的財産を取り扱う場合は、必要な契約を締結したうえで、相手方の方針や契約内容に従って適切に取り扱っている。									8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			入社時に個人情報の適切な取扱いに関する誓約書を取り交わしている。自社データはセキュリティに配慮したクラウド環境に保管し、顧客等の個人情報は業務上必要な範囲に限定して取り扱っている。																16		
26		【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)	【非該当】		当社はウェブサービス及びデジタルコンテンツを中心とした事業を行っており、紛争鉱物を原材料として使用・調達していないため。																16		
27		【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			取引先や事業パートナーとの取引において、人権侵害や不正行為等の問題が確認された場合は、事実関係を確認し、取引継続の可否を判断する。						5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】（R5. 9. 5～追加） ・ 中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)	【非該当】		当社では発注者としての取引規模が限定的であり、現在の事業規模及び取引実態を踏まえ、現時点ではパートナーシップ構築宣言を行う予定がないため。				3					8	9	10							17

項目 番号		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																								
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			弊社が提供するサービスの不備や外的リスク等、想定されるリスクの洗い出しを事前に行い、顧客に対して事前説明を徹底している。			3.9									12.4						
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			ウェブサイトやシステムの公開・更新前に、表示内容や動作の確認を行い、不具合が確認された場合は速やかに修正している。また、SSL化、お問い合わせフォームへの迷惑メール・不正送信対策、システムやソフトウェアの更新等を行い、サービス品質と情報セキュリティの維持・向上に取り組んでいる。									9									
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			デジタルスタンプラリーサービス「STAMPRY」を提供し、紙のスタンプ台紙や応募用紙を使用しない企画運営を支援している。社内ではコピー用紙の裏面利用、LED照明の使用、再生紙名刺の採用にも取り組んでいる。						6					12	13	14	15				
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			デジタルスタンプラリーサービス「STAMPRY」を活用し、地域の店舗、観光施設、文化施設等を巡る機会を創出している。地域資源の認知向上や、来訪者が地域の魅力に触れるきっかけづくりを支援している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
33	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			地域ポータルサイト「軽井沢ナビ」「長野BooooN」等による情報発信に加え、「STAMPRY」を活用した地域回遊企画を提供し、地域の店舗、観光施設、文化施設への来訪機会の創出に取り組んでいる。				4					9		11	12		14	15		17	
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			地域イベントの情報をポータルサイトで無償発信し、地域の魅力発信やにぎわいづくりを支援している。				4							11			14	15		17	
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ (任意)	【非該当】		当社はウェブサービス及びデジタルコンテンツを中心とした事業を行っており、製品製造に伴う地域原材料の調達を行っていないため。								8	9		11	12	13					
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本 (必須)			経営理念・経営目標が明文化されている。定期的に社内で経営理念・経営目標の共有を図っている。								8	9									17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 (必須)			就業規則及び社内ルールを整備し、業務に関係する法令を遵守するよう従業員に周知している。																	16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 (必須)			社会・環境に関する取組の責任者を定め、必要に応じて関係する従業員と連携して対応している。																	16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 (必須)			弊社サービスを導入されているお客様などから意見の吸い上げを行っている。また、要望によっては、自社製品の開発ラインに反映させる。																16	17	
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)			自社サービスに関するリスクを把握・共有し、問題が発生した場合の対応方法や社内連絡手順を定めている。																	16	
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			弊社運営のポータルサイトにより、地域の情報発信を行っている																	16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)			サーバーを分散させることにより、一拠点に集中した場合に起こり得る事業停止が発生しないよう、インフラ整備を行っている。									9		11		13 13.1				16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)		【予定】	現時点では具体的な後継者の選定には至っていないが、将来の事業継続を見据え、社内人材の育成と業務の共有を進める。								8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、 間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定